



月潟中学校 学校だより

# 翔舞

R7 第19号

令和8年3月19日  
発行  
新潟市立月潟中学校

新潟市南区月潟740  
☎: 375-2106



## R7 203DAYS



本日をもって、令和7年度終業となりました。今年度の授業日数は203日。1・2年生のみなさんは、この203日で自分自身がどう変わった、どう成長できたと感じているのでしょうか？

月潟中学校の今年度の活動は、生徒のみなさんの「自ら行動する力」「たくましさ」「共に生きる力」を高めることを目標にして行ってきました。最近のみなさんの姿を、今年度がスタートした頃のそれと比べてみると、3つの力が随分高まってきているのが感じられます。特に、卒業していった3年生から躍進会リーダーを引き継いだ頃からの変化は、目を見張るものがありました。みなさん自身、それをしっかりと実感できているのでしょうか？

そんな風になれたのは、今年度203あった1日1日を、みなさんが互いに認め合い、支え合いながら過ごす中で、着実に努力を積み重ねることができたからだと思います。1年間、よく頑張りました。約3週間後には進級し、一緒に活動する仲間として新入生を迎え、新しい1年の活動・挑戦が始まります。今年度の成果を自分でしっかりとらえ、来年度より一層成長していけるように生かしていきましょう。

保護者・ご家族の皆様、地域の皆様。今年度も生徒たちの日々の活動を温かく見守り、学校の教育活動に多大なるご支援・ご協力をくださり、大変ありがとうございました。心より感謝申し上げます。来年度も月潟中学校をどうぞよろしくお願いいたします。

## 今年度の振り返りと来年度の目標 ~後期終業式にて~

■ 1年生代表 ○○ ○○ さん ■

私は、この1年間を振り返ってみて、頑張ったことがあります。それは、勉強と体育祭です。

まず、勉強についてです。中学校のテストは、小学生の時と全くやり方が違い、年4回に分けて行うというものでした。最初は、テストに向けた勉強の仕方がわからず、どこから手をつけていいか悩みました。そこで、私は学校で出された課題をひたすら解いたり、姉に勉強のアドバイスやわからないところを教えてもらったりして勉強しました。そのほかにも、ワークなどの問題を解いてテスト対策を万全にしていたのですが、テスト前日になると口から心臓が出てしまうほどドキドキが止まらなくなって、十分な成果を出せませんでした。2年後には、受験という大きなテストが待っています。その時に後悔しないよう、これからもしっかりと勉強したいと思います。

次は、体育祭についてです。体育祭では、初めて応援リーダーという職につきました。最初は何をやれば良いのかわからず戸惑っていたけれど、そんな時すぐに、先輩方が優しく接してくれたり教えてくれたりしました。その先輩方のサポートのおかげで無事応援練習に取り組み、体育祭当日を迎えることができました。勝負の結果は、私が所属していた軍は残念ながら負けてしまい、とても悔しい思いをしました。4月から





は私も先輩になるので、自分が先輩方からしてもらったように、私も後輩たちに優しくいろいろと教えてあげたいです。そして、来年の体育祭では、嬉しい気持ちになれば良いと思います。

この1年で学んだことを活かしつつ、2年生ではより充実した1年を過ごすために、勉強も学校行事もより良いものにしたいです。

■ 2年生代表 ◇◇ ◇◇ さん ■

私が今年度頑張ったことは2つあります。

1つ目は定期テストに向けての学習です。私は今年度、定期テストの点数を上げるために、自分に合った勉強法を取り入れて学習することに力を入れました。1年前の定期テストでは、自分の苦手分が分からず、長時間学習しても結果が伸びませんでした。そして、テストでは目標点数を取れないことがよくありました。このようなテストの結果を改善するために、私は自分に合った勉強法を探しました。まず、テスト範囲のワークを各単元で2周以上繰り返して問題を解き、自分が得意な教科や得意な単元、反対に苦手な教科や苦手な単元を分析しました。次に、苦手な教科の勉強法を変えてみました。例えば、苦手意識のあった数学では、授業ノートを見やすくまとめて何回も見返したり、よく間違える問題だけをピックアップし、できるようになるまで繰り返し問題を解くようにしたりしました。また、私は暗記することが苦手なので、社会や理科では、授業で使ったプリントや教科書の覚えにくいところだけまとめたり、記憶力が定着しやすい夜の寝る前などに重要語句を読み返してテストまでに覚えられるようにしたりして工夫しました。勉強法を変えた結果、テストの点数が前より上がり、自分の苦手を克服することができました。来年度はこの経験を活かして、定期テストや実力テストなどで目標点数を安定して取れるように努力していきたいです。



2つ目は部活動での練習です。私は吹奏楽部に所属しています。吹奏楽部は10月に3年生の先輩方が引退され、8人という少ない部員数で新体制の活動が始まりました。今年度吹奏楽部では様々な活動を行いましたが、その中でも私が特に印象に残った活動は、11月に行われたアンサンブルコンテストです。アンサンブルコンテストは吹奏楽コンクールと異なり、指揮者がいない中で少人数編成で音楽を作り上げて演奏します。私はフルートを担当していますが、アンサンブルでは一人一人の音がダイレクトに響き、一音一音がより重要になるので、ミスをすると曲が崩れてしまうというプレッシャーがありました。そして、アンサンブルは指揮者がいないので、メンバー同士で楽譜の縦のリズムやテンポ感を揃えて演奏することの難しさに直面しました。この2つの課題を克服するために、様々な工夫をしました。



個人練習ではピッチを細かく合わせたり、音の切り方や繋ぎ方に表現をつけるアーティキュレーションを見直してメトロノームをつけたりして、細かい練習を積み重ねました。全員での練習では、周りの音をよく聞くことを全員で意識して縦のリズムが合うように工夫したり、メンバー同士でコミュニケーションをよく取ったりすることで互いの音を

信頼して演奏できるようになりました。本番の演奏では今までの練習の成果を発揮し、それぞれ納得のいかない部分もあったけど、全員がやり切ったと思えるような演奏ができました。結果は銅賞でしたが、それ以上に、仲間と音楽を作り上げていく難しさや、その分大きな楽しさを得られることを改めて実感することができました。

私は今年度の様々な経験から、来年度も諦めずに努力することを大切し、4月から始まる最高学年としての学校生活に活かしていきたいです。